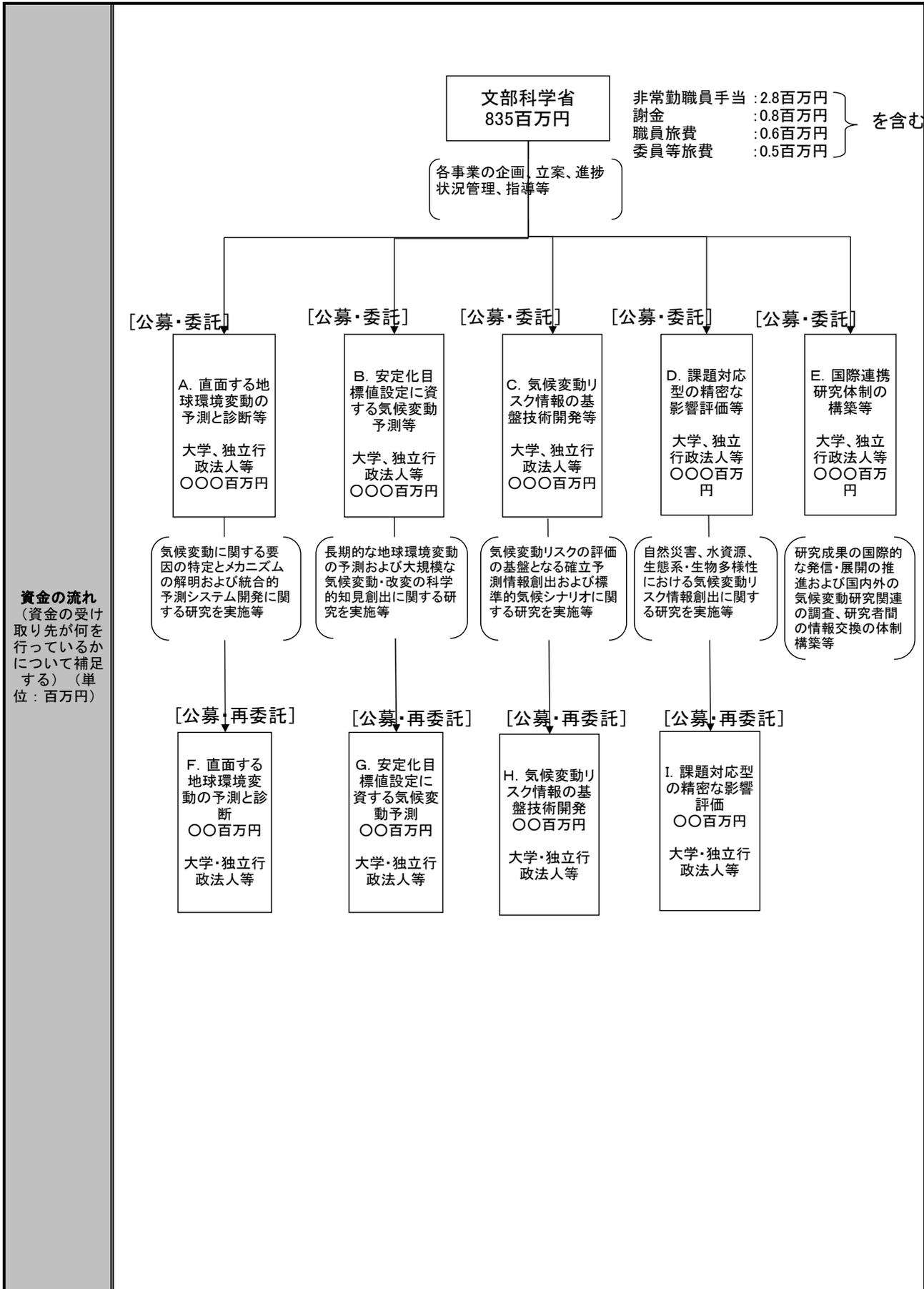


平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名		気候変動リスク情報創生プログラム		担当部局庁	研究開発局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度		平成24年度～平成28年度		担当課室	環境エネルギー課	環境エネルギー課長 篠崎 資志			
会計区分		一般会計		施策名	X-3 環境分野の研究開発の重点的推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)		-		関係する計画、通知等	第4期科学技術基本計画(平成23年閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		地球温暖化への適応等に寄与する政策や対策の立案に資するとともに自然災害に対応する持続的な社会を構築するためには、高い信頼性を有する気候変動予測情報や気候変動に関するリスク情報が不可欠であることから、気候変動に関する生起確率やその影響を評価する技術を開発し、気候変動によって生じる多様なリスクのマネジメントを可能とする基盤情報の創出を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)		<p>公募により競争的に選定された研究機関により、以下の研究領域テーマについて、気候変動リスクに関する世界最高水準の研究等を行う。</p> <p>①直面する地球環境変動の予測と診断(気候変動要因の特定とメカニズム解明、統合的予測システムの開発) ②安定化目標値設定に資する気候変動予測(多様なシナリオによる長期予測、気候変動等に係る新たな科学的知見の創出) ③気候変動リスク情報の基盤技術開発(リスクの評価基盤となる確率予測情報の創出、高度利活用に資する標準的データセットの整備) ④課題対応型の精密な影響評価(自然災害、水資源、生態系・生物多様性の3分野に関する気候変動リスク情報の創出) ⑤気候変動研究の推進・連携体制の構築(気候変動研究の効果的な推進に寄与する支援の実施) ⑥「気候変動に関する政府間パネル」(IPCC)への対応(IPCC第1作業部会に関する国内外の研究動向の調査)</p>							
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		予算の状況	当初予算					835	835
			補正予算					0	
			繰越し等					0	
		計						835	835
		執行額							
執行率(%)									
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (28年度)
		他分野研究者が入手可能な気候変動リスク基盤情報量		成果実績	GB				600,000
				達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
		①主要研究テーマ ②気候変動リスク情報等研究成果の社会・国民への普及(公開シンポジウム開催等)		活動実績 (当初見込み)	①テーマ ②回		()	()	()
単位当たりコスト		気候変動リスクに関する情報(ギガバイト)に対するコスト 1,400(円/GB)		算出根拠	成果目標であるデータ量(600,000ギガバイト)あたりの予算額(835百万円) 835百万円 ÷ 600,000GB = 1,400円/GB				
平成24・25年度予算内訳	費目		24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	科学技術試験研究委託費		831百万円	831百万円					
	非常勤職員手当		2.8百万円	2.8百万円					
	委員等旅費		0.5百万円	0.5百万円					
	庁費		0.6百万円	0.6百万円					
	諸謝金		0.5百万円	0.5百万円					
	職員旅費		0.3百万円	0.3百万円					
	計		835百万円	835百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<p>気候変動への対応は、我が国や世界にとって、極めて重要な課題である。特に我が国は、台風等の自然災害が頻発しており、今後は気候変動により台風強度の増大が予測されている。気候変動への対応の必要性に関する社会的認識は高まりつつあり、これに適切に対応するためには、科学的根拠に基づきリスク管理に資する基盤的情報を創出することが必要となっている。</p> <p>また、本事業は、内閣府総合科学技術会議が策定する「科学技術重要施策アクションプラン」において、グリーンイノベーションの創出を促す上で重要な社会的・公共的インフラと位置づけられている優先度の高い事業である。</p>
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<p>事業を実施する研究機関は、外部有識者により構成される審査会を経て、再委託先も含めて、企画競争により選定を行うこととしており、競争性は確保されている。</p> <p>また、事業実施にあたっては、外部有識者により構成される諮問委員会において、研究計画、予算配分等の承認、評価を行うこととしている。</p>
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<p>本事業の推進にあたっては、21世紀気候変動予測革新プログラム(平成19～23年度)において創出された気候変動予測研究の成果を活用することとしている。また、外部有識者により構成される検討会の議論を踏まえ、最適な事業の実施体制、研究領域を設定しており、実効性の高い事業となっている。</p> <p>環境省では環境政策に資する温暖化研究を推進しており、その際には、文部科学省の研究成果を最大限に活用するよう、連携・調整を行っている。</p>
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	※類似事業名とその所管部局・府省名 環境研究総合推進費(環境省)	
－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果		<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は我が国及び世界が直面する気候変動問題への対応に必要な科学的知見を創出することを目的とした事業である。 ・適切な実施体制、研究領域、成果目標を設定するとともに、他の事業の成果を有効活用することにより、効率的に研究開発を推進する環境が整備されており、実効性の高い事業となっている。 ・外部有識者により構成される審査委員会において実施機関を選定することとしており、競争性が確保されている。 	
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>－ 本事業は、現時点で執行面における課題も生じていない。また、成果目標及び活動指標も立てられていることから、適切な事業と認められる。引き続き迅速かつ適切な予算執行に努めること。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>第4期科学技術基本計画 http://www.mext.go.jp/component/a_menu/science/detail/_icsFiles/fieldfile/2011/08/19/1293746_02.pdf</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	0030



A. 大学、独立行政法人等			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
科学技術試験 研究委託費	大学、独立行政法人等研究費	831			
計		831	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					